

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

豊山町地域公共交通会議

平成22年5月11日設置

地域間幹線系統 平成30年5月31日 確保維持計画策定

●地域の特性と背景

- ・名古屋市中心部から10km圏内で、面積は約6km² (県内最小)。
- ・空港、市場、航空機関連工場等の大規模施設が立地。
- ・幹線道路網が充実。鉄軌道はなく、バス交通による公共交通網を形成する。

●豊山町地域公共交通網形成計画

【計画の目標】

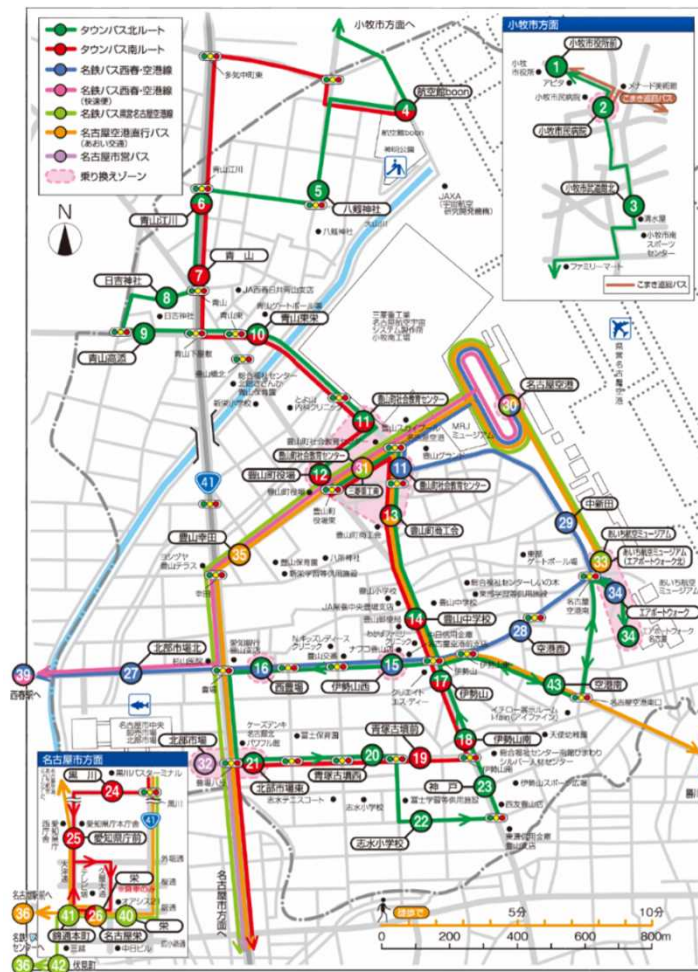
『自動車に頼らなくても、誰もが、安全・安心で便利に、行きたい所に行ける地域公共交通』の実現。

【計画の期間】

平成27年度～平成31年度 (5年間)

【数値目標】 (カッコ内は平成25年度値)

- 公共交通に対する住民満足度20.0% (14.1%)
- バス停勢圏人口カバー率95.0% (91.9%)
- とよやまタウンバス年間利用者数94,000人(74,990人)
- とよやまタウンバス運行負担率50.0% (60.5%)



【公共交通ネットワーク図】

● 網形成計画の主な事業 (太字は直近実施)

	(1) 既存路線の維持と国の事業の積極的な活用
	・ 既存路線の継続運行
	・ 地域公共交通確保維持改善事業の活用
	(2) 地域公共交通会議の開催
	・ 地域公共交通会議の開催
全 に や さ し い 安	(1) バスや関連施設の充実
	・ バスの安全対策やバリアフリー化
	(2) 高齢者等の移動範囲の拡大
	・ バス停勢圏の拡大や利便性の向上
	・ 利用しやすい運賃体系の構築
	・ タクシーや移送サービスとの連携
性 の 高 い 交 通	(1) バスの利便性の向上
	・ とよやまタウンバス南北ルート の改善や見直し
	・ バスの利用環境の改善・充実
	(2) 産業活動や地域間交流を支える交通環境の整備
	・ MR J 関連の通勤者や見学者のアクセス確保
	・ 近接市町のバス路線との連携
環 境 に や さ し い 交	(1) クルマに過度に依存しない交通行動の促進
	・ 豊山町公共交通マップの作成・配布
	・ バスの乗り方教室や出前講座等の開催
	・ 広報誌やホームページ等による公共交通のPR
	(2) 自転車・徒歩で移動できる交通環境の整備
	・ 安全で魅力的な自転車・歩行空間の整備
	・ バスと自転車との乗り継ぎ環境の整備

● 事業概要と実績

① とよやまタウンバス南北ルートの改善
や見直し

町民からの要望：

**町北部から南部の大型店舗
へ向かうバスが欲しい…**

- ・ とよやまタウンバス北ルートの大型店舗
への延伸試行運行を実施
(H30.4.1～ R1.9.30)

それに伴い…

- ・ 「空港西」バス停で名鉄バスとの競合
区間が発生！

解消するため…

- ・ ルート変更を実施 (R1.10.1～)

結果

- ・ 移設後も変わらず利用者を獲得

(→ 詳細はアピールポイントにて…)

●事業概要と実績

② 広報誌やホームページ等による公共交通のPR

- ・タウンバス北ルート的大型店舗への延伸について、町広報誌、CATV（町全域）、町公式HPで紹介
- ・町内周遊を促すため、「町内100円均一」を前面に押し出したPRチラシを作成
- ・タウンバス北ルートにおける大型店舗（エアポートウォーク）での乗降数が増加



H30.4.1~H31.3.31	乗車 (490人)	降車 (672人)
→H31.4.1~R1.10.31時点まで	乗車 (454人)	降車 (676人)



【タウンバスPRチラシ】

③ バスの利用環境の改善・充実

あおい交通 名古屋空港直行バス

- ・オープンデータ (GTFS) 化対応
- ・PAYシステム導入 (PayPay)



- ・GTFS化によるインバウンド対応
- ・運賃支払い時における利便性の向上

名古屋大学と連携、社内で勉強会を開きつつ対応を実現

料金に応じてQRコードを掲示し、乗客がスマホで読み取るだけ
→初期投資・手間が少ない



【バス車内PAYシステム設置状況】

第4次総合計画後期基本計画や総合連携計画に掲げる生活保障の指標に基づき、**「安全・安心」**、**「利便」**、**「環境」**の観点から目標値を設定。

目標指標	単位	R1(H31)目標値	現状値(H30)	達成状況
公共交通に対する 住民満足度	%	20.0	15.7	未達成
バス停勢圏 人口カバー率	%	95.0	92.1	未達成
とよやまタウンバス 年間利用者数※	人	94,000	75,126	未達成
とよやまタウンバス 運行負担率	%	50.0	58.5	未達成

※地域公共交通確保維持改善計画において、補助対象となるとよやまタウンバス南ルートについてH31の年間目標値を66,500人と設定。現状値は65,349人。

●考察

- ・住民満足度：鉄軌道がないため、バスの利便性が向上しても上昇しにくい
- ・タウンバス年間利用者数：他路線（県営名古屋空港線（名鉄バス）・名古屋空港直行バス（あおい交通）の充実により、利用者のシフトが生じている
- ・タウンバス運行負担率：利用者数の伸び悩みにより運行負担率が増加

●課題

住民満足度が低い

鉄軌道を整備することは困難...
他の公共交通で充実を図る必要がある

タウンバス年間
利用者数の伸び悩
み

タウンバスの利用者を増加させつつ、
他路線の利用も促進したい...

タウンバス運行
負担率の増加

利用者数を増加させる方策が必要...

第二次
網計画に反映

●対応方針

- ・住民満足度の目標指標について、「バスネットワークに対する住民満足度」に見直す
(1 1月20日の公共交通会議幹事会・1 1月28日の公共交通会議で協議済) (R2年度から)
→ **実施している公共交通施策の成果を正確に把握できる**
- ・バスの特性に応じた移動手段の提案 (R2年度から)
→ **利用者が求める移動方法 (目的地に早く行くには? 安く行くには?) を把握
バスの路線特性をPRして、利用者が移動手段を選べるようにする**
- ・タウンバスの利便性の向上
→ **ルートの見直し・G T F S化の推進・車両の更新 (R2年度から)、近接市のコミュニ
ティバスとの接続 (R5年度から)、新たな運賃支払い方法の検討 (R4年度から)**

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

豊山町地域公共交通活性化協議会

平成22年5月11日設置

地域間幹線系統 平成30年5月31日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>利用者にわかりやすい公共交通マップや出前講座などにより、効果的なバスのPRを行ったことを評価する。 (平成28年度評価)</p>	<p>町内の全バス路線を網羅した公共交通マップを作成。 町の出前講座メニューに「バスの乗り方教室」を加え、バス事業者の協力のもと事業を実施。 とよやまタウンバス利用促進チラシ・ポスターを作成し、公共施設、回数券取扱所、近隣自治体に配布。</p>	<p>町内の全バス路線を網羅した公共交通マップの作成、出前講座（バスの乗り方教室）を継続して実施。</p>
<p>県営名古屋空港周辺の需要への対応について、周辺自治体やバス・タクシーの関係事業者と十分な協議と理解を得ながら、より最善な地域公共交通ネットワークの構築に期待する。 (平成28年度評価)</p>	<p>平成29年度に、あいち航空ミュージアムやMRJミュージアムがオープンしたことに伴い、あおい交通の名古屋空港直行バス、名鉄バスの県営名古屋空港線が充実。 更なる公共交通網の充実を目的に、北部市場まで乗り入れている名古屋市営バスの延伸について名古屋市へ要請。</p>	<p>とよやまタウンバスについて、隣接自治体のコミュニティバスとの接続を図る。 町内バス路線の充実を目的に、名古屋市営バスの延伸について、名古屋市への要請を継続。</p>

タウンバス北ルートへのルート見直し

【目的】 北部の町民の買い物の足の確保

平成30年度に大型商業施設への乗り入れを実施

結果

利用者数は増加傾向がみられる一方、既存路線との競合区間が生じてしまう...

対策

ルート変更（バス停移設）により競合区間の解消（令和元年10月から）

「空港西」バス停の東西区間において名鉄バスと競合...

競合区間の解消
バス停空白地域の解消

変更にあたって以下を実施

- ・近隣住民説明
- ・交通事業者への説明
- ・道路管理者の承認
- ・警察協議
- ・OD調査

結果

- ・ルート変更後も変わらず利用者を獲得
- ・バス停空白地域の解消
- ・渋滞路線の回避を実現



【ルート変更前】



【ルート変更後】